

## 平成19年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成20年7月  
独立行政法人福祉医療機構

### 1. 随意契約見直し計画と平成19年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

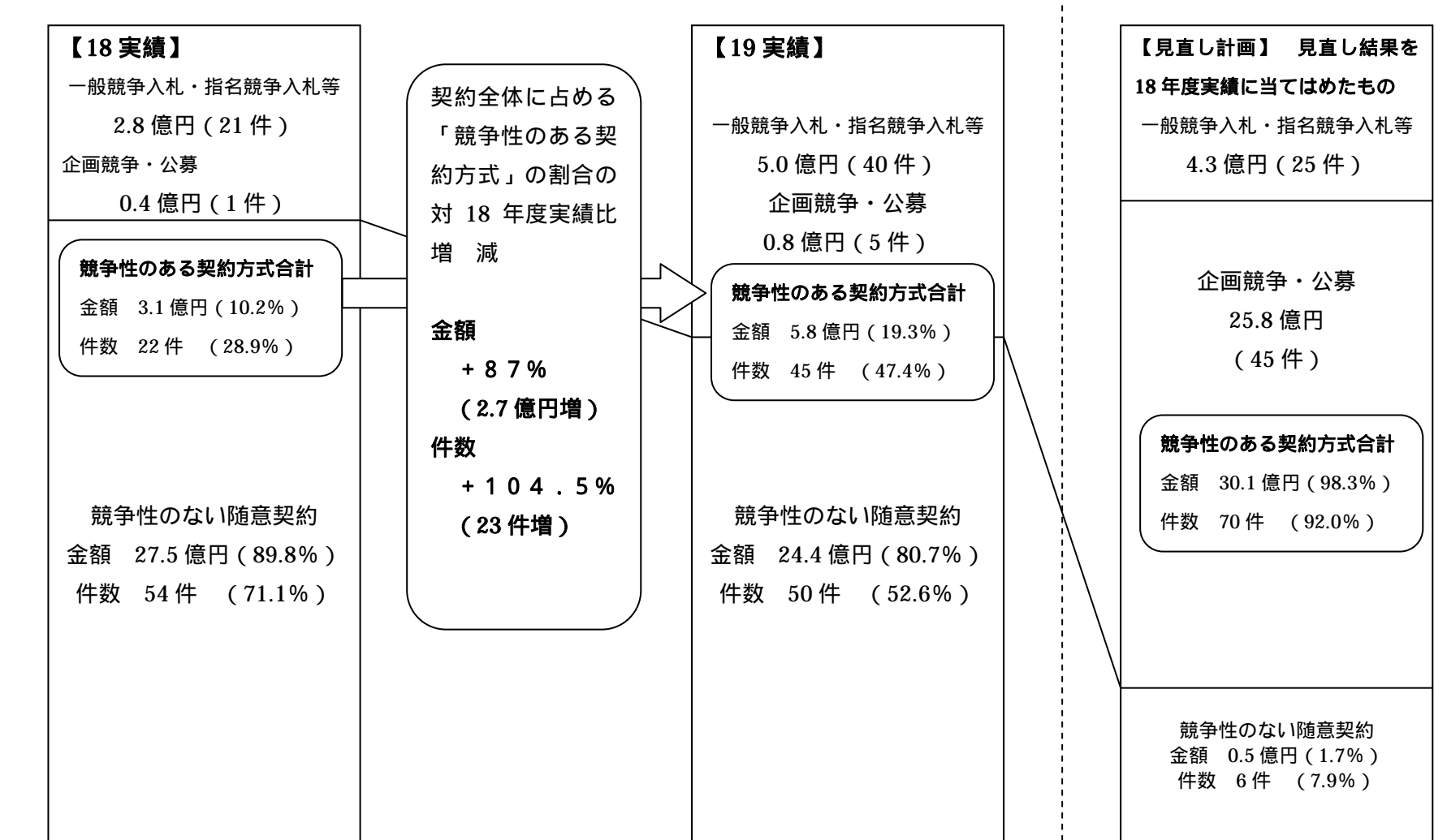
	平成18年度実績		平成19年度実績		比較増 減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(27.6%) 21	(9.0%) 2.8	(42.1%) 40	(16.7%) 5.0	(90.5%) 19	(82.8%) 2.3	(32.9%) 25	(14.1%) 4.3
企画競争・公募	(1.3%) 1	(1.2%) 0.4	(5.3%) 5	(2.6%) 0.8	(400.0%) 4	(118.6%) 0.4	(59.2%) 45	(84.2%) 25.8
競争性のある契約 (小計)	(28.9%) 22	(10.2%) 3.1	(47.4%) 45	(19.3%) 5.8	(104.5%) 23	(87.0%) 2.7	(92.1%) 70	(98.3%) 30.1
競争性のない 随意契約	(71.1%) 54	(89.8%) 27.5	(52.6%) 50	(80.7%) 24.4	(-7.4%) -4	(-11.2%) -3.1	(7.9%) 6	(1.7%) 0.5
合 計	(100.0%) 76	(100.0%) 30.6	(100.0%) 95	(100.0%) 30.2	(25.0%) 19	(-1.2%) -0.4	(100.0%) 76	(100.0%) 30.6

(注1) 計数はそれぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増 減の( )書きは、平成19年度の対前年度伸率である。

(注3) 見直し計画の「競争入札等」の25件、4.3億円には、随意契約見直し計画(平成19年12月)において「事務・事業を取り止めたもの」に区分した2件、1.5億円を含む。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 19 年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 平成 19 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

当機構の随意契約見直し計画においては、「平成 18 年度随意契約中、業務システム最適化対象システムに係る契約が大半を占めていることから、これについては、最適化の検討結果を踏まえ、平成 20 年度以降可能なものから、一般競争入札等に移行する。」等としており、現在鋭意実施しているところである。

平成 19 年度においては、「システム最適化に基づく次期システムの設計・開発等のプロジェクト関連業務」の入札を実施。(1 件、0.6 億円)

また、システム最適化関連以外では、企画競争を 5 件実施。

(18 年度 1 件、0.4 億円、19 年度 5 件、0.8 億円)

3. (参考) 契約形態別応札者数 (平成 19 年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2 者以上	36	90.0%	0	0.0%	4	80.0%	0	0.0%
1 者以下	4	10.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%
合 計	40	100.0%	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%